

(様式1)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	19	学校名	宇都宮市立 御 幸 小学校
-----	---------------	------	----	-----	---------------

平成31年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

心身ともに健康で、よく考えて判断する力と自主的に行動するたくましい実践力をもち、誠実で思いやりがあり、豊かな心を持った児童の育成を目指す。

(2) 具体目標

【めざす児童像】

- ・ 素直で、思いやりのある子
- ・ 自ら考え、進んで学習する子
- ・ 健康で、ねばり強い子

【合言葉】

「やさしく かしく たくましく」

2 学校経営の理念

【めざす学校像】 <一人一人が いきいきと 輝く 御幸小>

- ・ 子供たちが毎朝早く学校に行って、友達や先生と一緒に、勉強や運動をしたいと思える学校
- ・ 教職員が職場の仲間と一緒に、子供たちのために実践と研修に励む学校
- ・ 保護者や地域住民と一緒に、地域の学校を誇りに思い、進んで手伝いたくなるような学校

3 学校経営の方針

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】

自立 ～学習や学校行事等を通して、学校生活に意欲を持って取り組む子供の育成～

(1) 児童がいきる学校（共に伸びる子供）

児童一人一人がいきいき、のびのびと活動し、様々な「できた楽しさ」を味わう中で、自分の将来の自立と共生に向けて、「豊かな心」「確かな学力」「健康・安全」の育成・向上に努める。

① 豊かな心（やさしく）の育成

- ・ 児童一人一人が生き生きとした学校生活が送れるようにするため「豊かな心育成全校運動」を推進する。

② 確かな学力（かしこく）の向上

- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業研究会を実施するとともに、基礎・基本の定着を図るため「チャレンジ学習全校運動」を推進する。

③ 健康・体力（たくましく）の向上

- ・ 健康で安全な生活習慣を身に付け、体力の向上を目指す児童を育成するため「元気っ子活動全校運動」を推進する。

(2) 教職員がいきる学校（共に高め合う職員）

使命感に徹し、協働体制のもと、各自が特性を発揮し、授業力・学級経営力など教師としての資質・能力の向上に努める。

(3) 家庭・地域といきる学校（共に歩む学校）

地域学校園や家庭・地域との連携・協力のもと、様々な地域の教育資源を活用することにより子供たちのより良い成長に努める。

4 教育課程編成の方針

(1) 基本方針

- ① 日本国憲法・教育基本法・学校教育法及び同施行規則・小学校学習指導要領・栃木県教育委員

会の指針並びに宇都宮市学校教育の重点の示すところに従い、本校の教育目標の達成を期するよう編成するための経営方針や前年度の学校マネジメントの成果と課題、本年度の方策等を踏まえた特色ある教育課程を編成する。

② 「第2次宇都宮市学校教育スタンダード」における目標を具現化し、「小中一貫教育・地域学校園」の実施に合わせて、目指す児童像を実現するための学校の在り方や具体的方策を明らかにした教育課程を編成する。

③ 教育目標の具現化に向け、本校がこれまで積み重ねてきた伝統を生かしながら、徳（やさしく）・知（かしこく）・体（たくましく）の調和の取れた教育課程を編成する。

（2）具体方針

① 本校は、平出工業団地が隣接していることや新興住宅地域であることなど、地域性や保護者の実態に応じ、学校—家庭—地域が一体となった教育を推進するよう編成する。

② 児童の発達段階や特性、児童を取り巻く社会環境・情勢の変化、問題行動の複雑化・多様化、家庭・地域教育力の現状、社会体験や自然体験等の実施などを把握し、児童の実態に応じた教育課程を編成する。

③ 自ら学ぶ意欲と変化に対応できる能力を身に付け、個性を伸ばし創造性ある人間育成を目指した教育課程を編成する。

④ 鬼怒地域学校園・小中一貫教育の理念に沿い、制度の円滑な実施と趣旨に応じた創意ある取組の促進を目指した教育課程を編成する。

⑤ 体育館・プール新築工事に伴う教育活動全般の見直し・改善や実施時期・方法等に配慮した教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

（1）学校経営

- ・ 学ぶことの楽しさが実感できる授業実践と授業力の向上を目指すとともに、道德教育を通して、豊かな心と自主性を育む教育の推進に努める。
- ・ 行事の精選や諸計画の見直し、業務の適正化を図り、児童と向き合う時間や教師の研修時間の確保に努め、より良い学級経営、教科経営の推進を図る。
- 家庭や地域、鬼怒地域学校園との連携を深め、地域人材の支援を得た体験活動を重視し、未来に向かって力強く頑張ろうとする意欲に満ちた児童を育成する。

（2）学習指導

- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践を追究する。
- ・ 基礎学力定着への取り組みを行う。
- ・ 積極的な読書活動推進のための手立てを行う。

（3）児童生徒指導

- ・ 学校生活のためのきまりやマナーを守る意識を高める。（集団生活のきまりの徹底化）
- ・ いじめのない学校への取り組みを行う。
- ・ 時と場に応じたあいさつと正しい言葉づかいの習慣化を図る。

（4）健康（体力・保健・食・安全）

- ・ 運動を伴う遊びを奨励する。
- ・ 走跳投の基礎感覚・基礎技能を高めるための取り組みを行う。
- ・ 食への意識・意欲を高める。
- ・ 登下校時の安全意識を高める。

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式 2～4 参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

（１）育てたい資質・能力

- ① 課題解決のために，地域の人・自然・文化に自ら関わり，見通しをもって主体的に学ぼうとする態度を育てる。
- ② 友達と協働し合う活動を体験し，互いのよさを認め合い協調し合う心や地域の人々との触れ合いを通し，感謝の心・社会性（コミュニケーション）や豊かな心を培う。
- ③ 豊かな体験活動から得た知識や技能をもとに，積極的な表現力をもって，自分にできることを実践する態度を育てる。
- ④ 地域の理解を通し，地域に働きかけたり地域に貢献しようとしたりする意欲や身近な環境づくりを実践しようとする態度を育てる。

（２）具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇

○は 31 年度の最重点目標の指標となる取組）

◇① 学校・家庭・地域の連携により豊かな心を育てる活動を推進する。

【重点活動名】「豊かな心」育成全校運動

- ・ 安全な学校生活への意識化（教職員の共通理解と統一した指導）
- いじめを許さない態度の育成（いじめをテーマとした道徳授業参観の実施）
- あいさつに対する意識向上（全校児童によるあいさつ運動の実施）
- 時と場に応じた正しい言葉づかいの習慣化
- 正しい言葉づかいと豊かな表現力の育成
- ・ 集会・下校時のきまりの徹底（教職員の意識の統一）

◇② 基礎・基本的な学習内容の確実な定着と積極的な表現力の育成によって，生き生きと意欲的に頑張る子どもを育てる。

【重点活動名】「チャレンジ学習」全校運動

- ・ 主体的・対話的で深い学びの具現化に向けた授業の実施
- ・ 朝のぐんぐんタイムの充実（漢字・計算・音読・視写）
- ・ 計画的な家庭学習の習慣化
- 漢字力，計算力検定（チャレンジテスト）の実施
- ・ レベルアップ教室（学習未定着児への個別的支援）
- 読書活動の充実（朝の貸し出し，学級全員貸し出しの機会の確保）
- ・ 学習支援ボランティアの活用

◇③ 地域の支援や体験活動を重視し，たくましい心を育てると共に，自主的な運動を通して丈夫な体を育てる。

【重点活動名】「元気っ子活動」全校運動

- ・ 運動への意識・意欲付け（毎月 1 回のスポーツウィークの実施，週 1 回の全校外遊びの実施）
- ・ 体力の向上（体育授業時の補助・補教運動の継続実施，宇都宮市ミニマムの継続実施）
- 食への意識・意欲の高揚（栄養士による共食指導，おにぎり・お弁当の日の実施）
- ・ 登下校時の安全意識の向上（集団・一斉下校時の巡回指導）
- ・ 地震等の災害を想定した引き渡し訓練の実施

8 本市の重点施策・事業との関連

（１）地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

① 基本的考え

- ・ 平出工業団地が隣接している利点を生かし，キャリア教育の推進に努める。

- ・ 新興住宅地域のため、学校－家庭－地域が一体となって子供の支援にあたる。

② 主な取組

- ・ 魅力ある地域協議会との連携・協力による出前授業や見学・体験学習の推進
- ・ 地域や家庭との連携によるあいさつ運動と登下校指導の充実
- ・ 幼稚園・高齢者団体と地域の諸団体との交流活動の推進

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的考え

- ・ 全職員が部会・分科会に所属し、地域学校園の児童生徒の共通課題，重点的に取り組む内容，小中の指導を円滑に接続する方策等を協議し，必要に応じて共同の取組を実施していく。

② 主な取組

- ・ 中学校による乗り入れ授業 ・ 小6進学先中学校訪問
- ・ 小中連携あいさつ運動 ・ 鬼怒地域学校園での取組の情報発信

(3) 不登校対策

① 基本的考え

- ・ 不登校児の家庭生活の改善及び保護者の意識改革を継続的に働きかけるとともに，新たな不登校児を生まぬよう不登校対策チームを中心に早期対策を図っていく。

② 主な取組

- ・ 児童生徒指導強化連絡会等における中学校及び小学校4校との情報交換
- ・ 長期化させないための早期対応…「1日休んだら電話，2日休んだら家庭訪問」の徹底